

社会資本整備総合交付金事業(H31~R3)

パッケージ No.1

市街地における
緊急輸送道路の
無電柱化を推進する整備

指標を用いた達成目標

○市街地における緊急輸送道路の無電柱化率の向上

※街路・・・市街地における都市計画決定された道路

パッケージNo. 1 市街地における緊急輸送道路の無電柱化を推進する整備

■対象地域	青森県				
■事業の目的	・県内の市街地における緊急輸送道路の無電柱化を推進する社会資本整備を行い、発災時の都市内輸送道路の確保を図る				
■事業の成果目標	市街地(市街化区域や用途地域)における緊急輸送道路の無電柱化率を5.6%にする。				
■成果目標の定義	①市街地(市街化区域や用途地域)における緊急輸送道路の無電柱化率				
■アウトカム指標の算定式	$(\text{対象済み箇所延長} / \text{要対策箇所延長}) \times 100$				
■指標の現況値及び目標値		H31当初	最終目標値(R3末)		達成度 (実績/計画)
			計画	実績	
①	0.0%	5.6%	5.6%	100.0%	
■対象とする事業	街路事業				
■主な路線	3・5・1号 沼館三日町線				



事業箇所 凡例	
事業名	—
延長・面積	—



【沼館三日町線の部分供用状況】

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	市街地における緊急輸送道路の無電柱化を推進する街路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成33年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	青森県												
計画の目標	県内の市街地における緊急輸送道路の無電柱化を推進する社会資本整備を行い、発災時の都市内輸送道路の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,571	A	1,571	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H33末
1	市街地（市街化区域や用途地域）における緊急輸送道路の無電柱化率を5.6%にする。			
	市街地（市街化区域や用途地域）における緊急輸送道路の無電柱化率 （整備率）=（用途地域における緊急輸送道路のうち無電柱化対策済延長）/（用途地域における緊急輸送道路延長）× 100	0%	0%	6%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・1号沼館三日町線(30-A1)	街路事業 L=0.7km、無電柱化	八戸市						1,571	-	
											小計						1,571		
											合計						1,571		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 青森県都市計画課が実施	事後評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・3・5・1沼館三日町線の整備により、緊急輸送道路の無電柱化率が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	市街地における緊急輸送道路の無電柱化率	
	最終目標値	6%
	最終実績値	6%